

社会システム論 I

科目ナンバリング SOC-303
選択 2単位

石島 健太郎

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では社会システム論、とりわけルーマンの社会システム論を基礎から学ぶ。ルーマンの語り口は難解だが、本講義ではなるべく身近な例を使いつつ、受講生との対話を通じて、彼の理論の魅力に迫りたい。なお、講義に対する質問・批判は、講義時間中のほか、インターネット上の質問フォームでも受け付ける。それらの質問を踏まえた議論によっても、受講生の理解を促したい。

2. 授業の到達目標

社会システム論についての学説史的な概略を理解し、説明できること。
ルーマンの社会システム論の基本的な概念を理解し、説明できること。

3. 成績評価の方法および基準

単位の有無は実質を伴った出席の回数に基づく。評価の高低は講義中の議論への参加の程度に基づく。期末試験、期末レポートは課さない。

4. 教科書・参考文献

教科書

ゲオルグ・クニール、アルミン・ナセヒ著、館野受男ほか訳 『ルーマン 社会システム理論』 新泉社

5. 準備学修の内容

毎回の講義内容をよく復習すること。授業資料を見直し、自分の言葉で説明できることとできないことを腑分けし、後者については自学自習や質問を通じて理解し、自らの血肉とされたい。

6. その他履修上の注意事項

履修者全員で教科書を読み合わせながら進行するので、教科書は必ず入手すること(入手方法については初回に連絡するので、必ずしも授業に先んじて購入する必要はない)。講義内容への質問・批判等を通じた積極的な授業参加を期待する。また、他者の学習を妨害する行為は厳に慎まれたい。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:授業計画および概略を示し、評価基準について詳説する。
- 【第2回】 一般システム論と社会システム論
- 【第3回】 機能-構造的システム理論
- 【第4回】 システム理論の新たな発展
- 【第5回】 心的システムのオートポイエーシス
- 【第6回】 創発的秩序レベルとしての社会システム
- 【第7回】 コミュニケーションと行為
- 【第8回】 観察
- 【第9回】 システム分化と第一次的社会分化、社会構造と意味論
- 【第10回】 分化形態の転換としての社会進化
- 【第11回】 統一性と差異
- 【第12回】 人格・包摂・個人
- 【第13回】 リスク
- 【第14回】 道徳
- 【第15回】 批判